



## カンボジアの子どもたちに教科書を

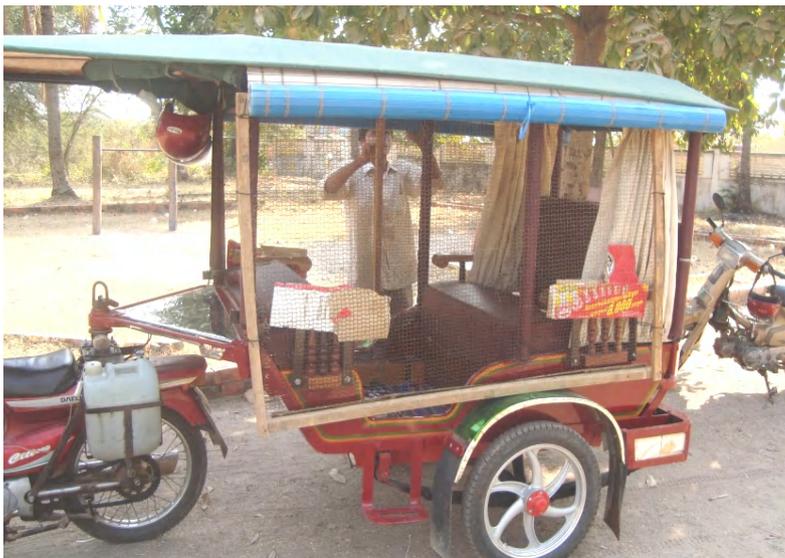
カンボジア便り

2013年3月 No. 44

市井秀治

### トゥクトゥクで送り迎えを始めます

ルセイサン幼稚園から要望があったトゥクトゥク (TT) を使っての子ども達の送り迎えについて、支援を行うことを決定しました。当会では、以前行った通園バスの効果が思ったほどではなかった為、費用対効果の面で慎重に検討していました。最終的に、①通学路を大型



これがトゥクトゥクです

### 黒板と学校用コピー機の支援を行います

Swedish Lifestyle 株式会社様より 68,953 円のご寄付を頂戴しました。ご寄付の活用方法について検討した結果、現地からの強い希望により、教科書支援を行っている 11 校への黒板とコピー機 1 台の寄贈を行うこととしました。黒板については、一部の学校は 1985 年から同じ黒板を使っており、また壁を黒板代わりにしている学校もありました。先生が書き

### ～目次～

カンボジア便り	
トゥクトゥクで送迎	1
黒板とコピー機を支援します	
予備教科書の活用状況	2
ボランティアさんの感想	2
スタッフ紹介	5
事務報告	6

トラックが頻繁に通る為、TT 無しでは子ども達の安全が大きく懸念されること、②例年を上回る 40 人超の子ども達が今年度は通園していること、を配慮して支援を決定しました。使用する TT にはネットで子どもが落ちないようにするなど、安全面の工夫をしてもらっています。また、通学路を通る大型トラックの運転手にも通学時間の運行を控えるように働きかけを行っています。費用は月額 130 ドルで、当面 3 月から 1 年間支援を行い、その効果などを見きわめてから継続するかどうかを一年後に再度検討します。

### 壁が黒板代わりとなっている教室



づらく、子どもは文字を読みづらく、授業をする上でも大きな問題となっていました。コピー機については、毎回各校の校長・先生が遠方へ行ってコピーしていたそうですが、今回ルセイサン小学校でコピー機を共有して使うことができるようになり、業務上の効率が向上することが期待できます。

## 予備の教科書も早速活用されています

今年度から、「どんな時でも常に全ての子どもが教科書を持っている状況」を目指して、学期の初めから予備の教科書を210冊購入していました。これまでのところ、他の村から引っ越してきた子どもや病気で期初に間に合わなかった子どもなどの為、5校で130冊の予備の教科書が学期中に配布されています。



教科書を手うれしそうな転入生たち



安全用のネットを張ったトゥクトゥク

## ボランティアさんの感想

### ニュースレター発送作業を終えて

インターネットで、今回のニュースレター発送のボランティアのことを知りましたが、私がボランティアに参加した理由は、元々国際協力に興味があり、学生のうちに参加したいと思っていたからです。

主な作業内容は事務作業でした。1つひとつの作業を慎重に、間違いのないようみんなで確認し合いながら行いました。印象に残った作業は、ニュースレター1通ずつにメッセージを書いたことです。手書きのメッセージを書くことは、普段あまりしないので新鮮でした。時間をかけて手書きのメッセージを書くことは、人に思いを伝えるためにはとても大切なことだなと感じました。

初めてのボランティアでしたが、事前に資料をいただいたので作業に入りやすかったです。黙々と集中して行う作業で、みなさんとお話する時間はほとんどありませんでしたが、スタッフの方々、同じボランティアの方々とは協力してできたので、とても充実した時

長谷川 あゆみ



間でした。自分の身近なところで、このような支援がされていることを知り、これからいろいろな国際協力のボランティアに参加したいと思っています。

## ビビンの会に参加して

留学生 李 ヒス

私にとって、日韓アジア基金に入ってから初めての活動が「ビビンの会」でしたが、打ち合わせを通して、すぐにメンバーの人たちとも仲良くなりました。

当日には、スタッフとして事前準備から参加し、さらにはチームのリーダーもさせていただきました。今までの日本での生活の中で、ビビンの会のような韓国人と日本人の交流会に参加したことがなかったため、ビビンの会は私にとってとても良い思い出になったと思います。

会には様々な方が参加されており、恋愛などのテーマに対する「韓国人」と「日本人」の考え方の違いについて話し合い、そこから改めて両国人の考え方の違いに気付くことが出来ました。でも私は、考え方が違うからといって排除するのではなく、これからさらに韓

国人と日本人の間の距離を縮める努力をしていく必要があると思います。

ビビンの会を通して気付いたことを活かし、今後も韓日の相互理解を深めていきたいと考えています。実際参加者とその後も交流を続けていますし、このような韓日交流だけでなく、人と人との出会いや縁をこれからも大事にしていきたいと思っています。

同時に、日韓アジア基金の活動にも積極的に参加していこうと思っています。



韓国人と日本人が相談しながらまとめの発表

## 「年賀状宛名書き」のボランティア参加して

中国留学生 韓 曉霞

先日、日韓アジア基金によって行われた年賀状宛名書きのボランティア活動に参加しました。なぜ今回の活動に参加したかということ、日本へ留学してまだ3ヶ月の私にとって色々の理由があります。

まず、過去に一度東日本大震災ボランティアに参加したことがあります。そのときから意識したのは、自分にとってたいしたことではない力でも、人々の力を集めると巨大な力が生まれて、その力によって、困った人にすごく役にたつかもしれないことです。

だから今度のボランティア活動のために、自分がすこしでも役に立つのはうれしいのです。

またボランティア活動に参加する人はきっと立派な人だと思うので、日本ではいったいどんな人だろうかなとすごく関心を持っていました。このような人たちと接触したり、話したり、国と国の文化を伝えあったりするのはきっとすばらしいと思いました。

担当の斉藤さんたちの指導で、わくわくしながら年賀状を書き始めました。最初簡単だと思っていたのに、外国人の私にとってはそんなに簡単ではありません。まず、文化的な違いは中国では横に書くのに対して、日本では縦に書きます。色々の写し間違いが出た後やっと完成しました。その後、みんなで自己紹介したり、日韓アジア基金について簡単に



説明を受けたりしました。

カンボジアの子供たちのために、いろいろな活動とか寄付をしているこの組織はほんとうにえらいなあと思って、すごく感心しました。最後はみんな一緒にお菓子を食べたり、話したりしてほんとうに充実した一日だったと思います。

## ボランティアをして学んだこと

### 木曾可南子

私は文京国際交流フェスタで初めてのボランティアをしました。当日初めて会う人とボランティアをする事に不安が無いわけではありませんでした。しかし、周りのボランティア参加者の方々が気を遣って下さって、私自身ボランティア活動に慣れ親しむ事が出来ました。

開始時刻追われながら懸命にブースの飾りつけ

これまでのボランティアはかなり長期にわたるものや、特別な意思なしでは出来ないものなどハードルがあまりにも高く、一步を踏み出せないでいました。けれども今回のボランティア活動に足を踏み入れることが出来たのは、良い意味で「気軽」な環境下でのボランティアだったからだと思います。高校生から退職をされた方まで様々な年齢層の方々が、募金活動をしたり、文京国際交流フェスタに訪れた方々に日韓アジア基金の活動紹介をしたりしてボランティア活動を楽しんでいました。加えて和気藹々とした雰囲気の中で、他のボランティアの方々と交流することにより、ボランティアに対する理解が深まりました。イベント終了後のミーティングで、お互いの労をねぎらうと共に次の質問がなされました。



「ボランティアを今後やってみたいと思った人はいますか？」

質問と同時に「勿論！」という意思表示に、ボランティア参加者全員が手を挙げていたのが印象的でした。

## ボランティア活動の魅力～文京国際交流フェスタを終えて～

### 大学生 組谷建瑠

私はこれまで微力ながらもいくつかボランティア活動に参加したことがあります。その中に「グローバルフェスタ」というイベントがあります。そこのあるブースでは、お揃いのTシャツを着た人たちが、ものすごい(会場内で1番だったと思います)元気いっばいに活動していた様子が心に残りました。そのブースとは【認定NPO法人 日韓アジア基金・日本】でした。そこで活動してみたいと思い、今回参加させていただきました。

当日は緑のTシャツに腕を通して、募金活動呼びかけながら、韓国茶を販売しました。韓国茶はうめ・しょうが・なつめ・ゆずの4種類があり、どれもおいしかったのですが、ゆずが一番人気でした。昨年より韓国茶は多く売れ、たくさんの募金が集まったそうです。

イベントボランティアとして活動することはたくさんの人と触れ合うことでもあります。特に大学生の私にとって、短い時間ながらも社会人と交流することができたことが、一番の収穫であったと思います。そうしたことは、異なった価値観を理解し、一時的な流れにとらわれず、いろんな価値観からものごとを見る、判断することができるようになっていくと思います。ボランティアに対する不安や戸惑いなどで、なかなか最初の一步を踏み出すことが難しい人たちもいるでしょう。しかし踏み出す「勇気」があなたの「成長」につながります。ぜひ、1歩踏み出してこういった世界に入ってみてはいかがでしょうか？



ブースの飾りつけも終わりいよいよスタート

最後に、今回イベントボランティアとして一緒に活動をしたみなさんお疲れさまでした。私にとって文教国際交流フェスタでの言動一つ一つが貴重な体験となりました。ありがとうございました。

## スタッフ紹介

### 二村 侗 (26歳)

昨年12月の年賀状の宛名書きのボランティアをきっかけに、日韓アジア基金にスタッフとして参加することになりました、二村侗です。

日韓アジア基金でボランティアをしてみようと思ったきっかけは、このNGOが日韓協労で「アジアのため」の貢献を考えている点に、面白そうだと思ったことでした。純粹に日韓の交流も必要だと思いますし、自分自身これからやってみたいと思っていますが、日本と韓国が、共通の目的のために団結して取り組むとなれば、尚更面白そうだと思ったのです。このような取り組みは、実際珍しいのではありませんか、少なくとも私は聞いたことがありませんでした。

私の韓国との接点は、これまでに2度あります。1度目は、横浜市に住んでいた小学校時代。学校で韓国人の先生から韓国語に触れる機会がありました。もう1度は、高校時代の授業。こちらはイギリス人の先生が「アジアを知ろう！」ということで、韓国語を教える選択制の授業でした。イギリス人の先生に、ハングルのつくりが実はすごく合理的だということを知り、興味を持ちました。・・・反対に言えば、まだ韓国に行ったこともない自分としては、活動を通じて、新鮮な学びが多いのではないかと思います。

具体的にどのようなかわり方、貢献ができるかは依然未知数の部分がありますが、メディア関係の仕事に関わっていた経験があることから、ソーシャルメディアの活用など、一人の若者として、日韓アジア基金が裾野の広い団体となるのに貢献できたらよいのではないかと思います。

どうかよろしくお願いします。



昨秋1ヶ月滞在した  
岩手県大槌町にて

平成 24 年度定期総会を開催します

日時 3月16日(土) 13時30分～14時30分(受付開始13時15分)

場所 アジア文化会館 地下ホール

昨年9月の年次総会で当会の事業年度を変更し、昨年12月が期末となりましたので、今回定期総会を開催するものです。

詳細は同封の開催通知・議事(案)をご覧ください。

当会イベントにボランティアスタッフとして参加下さった方(敬称略・五十音順)

2012年12月12日2日 ニュースレター43号 発送作業

石川里奈・植松理恵・小野澤良友・加瀬真奈美・小堀紀行・坂谷秀之・高島武・舘山青美・田村直哉・長谷川あゆみ・古川理彩子・油田奈緒子・上澤由樹

2012年12月22日 第18回ビビンの会グループリーダー

足立隼・李ジへ・猪又裕子・李ヒス・小森新・ジョンサンオン・芹川正樹・バンヒョナ・福島未来

2012年12月24日 年賀状宛名書き

門脇一郎・川畑里樹・韓暁霞・國本あい・齋藤芳徳・田之畑諒・玉井希・二村伶・宮下修・中本小百合・星野廣平

2013年2月9日 文京国際フェスタ ブーススタッフ

市川あかり・岩田辰大・木曾可南子・組谷建瑠・佐野里花・滋野夏穂・白井瑞希・杉坂亮太・高橋紗和子・丸小倫己・室岡徳・キムヨンフン

2012年11月30日～2013年2月14日に会費・ご寄付を下さった方 敬称略・五十音順(別枠除く)

大澤 龍	佐藤 和之	伊達 幸輝	中村節子2件	松井 ふみ子	兪和暎2件	渡部友理恵
大塚 紀子	芝村 篤樹	田中 慶子	樋口晴太郎	都鳥21	吉崎 玲子	
片岡 彩子	高橋 政行	丹下 誠司	樋口 督水	村松 悦子	若宮 英生	
語ろう会	高柳 直正	チラタ会	藤井 陽子	森 健造	若宮 康夫	
金子十三松	田沢雄二郎	中田 邦雄	堀場 秀亨	山口 忠正	渡辺 京子	

Swedish Lifestyle株式会社

日本聖公会 川越キリスト教会

ビビンの会寄付

文京フェスタ募金

ご入会・ご寄付のお願い

活動会員:年会費 5,000円(学生、未成年者 2,000円)

賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)

法人会員:年会費1口10万円

ご寄付:2,000円以上おいくらでも

<郵便振替口座>

口座番号 00180-2-25153

口座名 日韓アジア基金

・活動会員:活動に積極的にご参加頂ける方。総会での議決権があります。

・賛助会員:定期的にご支援頂ける方。

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けします。

<お問合せ先> (日本語でお願いします)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内

Tel:090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX:03-3946-7599(ABK)

Eメール: [ilaf@iloveasia2.sakura.ne.jp](mailto:ilaf@iloveasia2.sakura.ne.jp)

HP: 検索サイトで「日韓アジア基金」で検索なさってください。

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本